

令和5年度 第5回 藤沢市立大清水中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年2月16日（金）13時30分～15時30分
 場 所 大清水中学校 相談室

出席委員等	<p>安藤 正俊（会長／三者連携ふじさわ大清水心のかけはし会 会長） 平出 恵利子（副会長／大清水中学校 校長） 吉田 正彦（大清水中学校 第9代校長） 笠原 昭彦（県立藤沢清流高校 校長） 吉田 純（大清水中学校 保護者） 佐藤 由美（藤沢西部地区青少年育成協力会 役員） 井出 祥子（藤沢公民館 館長） 磯貝 憲一（社会体育振興協議会） 小坂 亜希（大清水中学校 元PTA 役員） 山下 尚子（大清水中学校 教頭） 古谷 細保（大清水中学校 教務主任）</p> <hr/> <p>出席委員：11名（欠席委員：2名 野際委員 小原委員 事務局：山下 尚子（大清水中学校教頭） 教育総務課：伊豆内主任 傍聴人数：0名</p>
次第	<p>1. 開会 2. 授業参観（1年・2年） 3. 議題 （1）学校評価について （2）その他 学校近況報告 本校職員の紹介 3. その他 事務連絡 次回の会議日程及び内容確認 4. 閉会</p>
協議内容	<p>議題 （1）学校評価について <校長より> ひとつひとつの項目を生徒、保護者、学校職員の観点から評価を分析している。項目の数値から考えると、多くの生徒が前向きに学校生活を送っていると捉えることができる。その中では、いくつかの回答の中で肯定的な数値として高くないものもあるが、それは決して否定的な数値が高いというのではなく、回答しにくい項目であったと分析している。本日の学校運営協議会では、学校評価の結果について委員の皆様よりご意見をいただき、今後の学校運営における組織的・継続的な改善となるようにしていきたいと考える。</p>

<運営協議会委員より>

- ・学校目標や理念が子どもたちに浸透しており、それを尊重している姿が学校評価から読み取れる。この伝統を続けてほしい。
- ・全体的に目標に対してとても上手くいっているように思う。提案や課題など特別に対応を求めているもの（教科の評価、個人の不安な部分など）に関しては、担任の先生だけでなく相談できる機会があると良い。
- ・生徒の数値と保護者の数値の間に乖離がある。子どもたちが家庭で学校のことを話していないこともあると思うが、学校からの発信方法を考え、増やしていくと良い。
- ・同様に、修理をしたことに関してもアピールをしてみると、数値に変化が見られるかも。
- ・ICTの活用については、藤沢清流高校と教員間の連携ができる。ぜひ活用下さい。
- ・いじめについては、質問の文言を当事者意識が湧くような文言にしてみてもは。「いじめを見たことがあるか」「そのときどうしたか」「先生たちはどのように対応したか」など、何を聞きたいのか、具体的にイメージできる質問にすると良い。
- ・いじめについては、「わからない」という答えが見られる。「困ったことがないのでわからない」と捉えられる。我が家では、思春期のため、なかなか話をしてくれないし、学校からのお知らせも届かない。「あてはまらない」という回答が多いところに安心感をもっている。
- ・学区が広がり、新しい友達と合う・合わないはあると思うが、衝突したときに子どもなりに解決しようとしているのがわかる。
- ・授業見学で、教室の掲示物を見て先生たちが心がけていることがわかった。「間違ったことを笑わない」など、大切なことを押さえたうえで「自由と責任」があるところに好感を持った。
- ・制服（提示服）の利用機会を考えると、十分に活用できているのか疑問。保護者の負担を考え、教材も含め抜本的に改革しても良いと思う。
- ・来年度の学校の目標を絞って、それに即したことを行い、それをアンケートに取ってみると良い。焦点化されることで、学校が変わってくる。
- ・様々な行事でQRコードなどを用いてアンケートをとってみてもは。即時性のアンケートがあると、そのとき感じたことを届けられる。保護者の「この程度ならまあいいかな」という思いも拾え、改善につながるかも。

(2) その他

①学校近況報告

3年特別日課 認知症VR体験 職員向け不審者侵入対応訓練 など

②本校職員の紹介

笹田、小林、秋澤、山田、吉原 板羽、赤岩、鈴木、寺田、村田

※次回開催予定 2024年5月後半 大清水中学校2階 相談室

※5月15日(水) 14時から湘南台文化センターにて学校運営協議員向けのセミナーあり。